

最近の教育実習生の記録から

学園教職支援センター長

講師 岸本 芳信

平成 21 年度の教育実習は新型インフルエンザの影響も多少ありましたが、学生諸君の努力と勤勉さで無事終了しました。実習の記録を見ていると、いずれも、実習状況が浮かんでくる力作でした。昨年度と一昨年度の本誌に、同じタイトルで「実習生と実習校からの声」を掲載しました。今回は本年度の様子も含めて、「実習校からの指導内容」「実習生の反省事項」等について比較的目立つものを、あらためてまとめてみました。教育実習の振り返りに、今後の実習予定学生の予習に、ぜひ参考にさせていただきたい。

I 本学実習生の誇るべき事項と学生自身での発見事項

- 1 「しっかりコミュニケーションを図る」「先生方の動きをしっかり捉える」「自分のできることは精一杯実行する」という目標を立てて臨みました。
- 2 発問するときは、ノートを見ながらでは伝わらない。生徒を見ながら問いかけた。
- 3 毎日、指導の先生の助言を振り返り、その後の実習に活かせるように工夫した。
- 4 先生方や他の実習生の動きを注意深く観察し、自分の行動を振り返った。
- 5 ○○さんの人間性の美しさに心を惹かれました。(ある校長先生の評価)
- 6 相手に分かってもらえなければ、できていないのも同じである。わかってもらえるためにどうすればよいのかを考えた授業が必要である。「相手に伝える、理解させる」ということの難しさを実感した。
- 7 行動やしぐさや言い方一つで空気を変えてしまう先生方が、すごいと思い知らされた。
- 8 一生懸命、誠実に、対応していれば、生徒も応えてくれることを学んだ。
- 9 人は一人では生きていけない。生徒達や先生方から多くの励ましや助けを受けた。
- 10 日を追うごとに、教師になりたいという思い(夢)が強くなってきた。
- 11 子どもの純粹さ、素直さにとても魅力を感じ、教師になりたいと強く思った。
- 12 児童・生徒と教師がいっしょに何かをするという時間は、とても貴重な時間である。
- 13 教員として必要なことは、体力、教材研究、子どもとのかかわりの時間である。
- 14 根気強く、前向きに、子どもと向き合い続けることを学びました。
- 15 学んだことを今後十分に生かさないと、子どもたちと先生方にすごく失礼になる。

II 実習生の弱点と思われる事項

- 1 教材研究の必要性和不足が身にしみて反省させられました。その他、生徒全体の評価、授業の流れ、板書、発声、教師の主導性に留意できたか。
- 2 漢字の間違い、筆順の間違いが多い。(必ず辞書等で調べることが大切)
- 3 この時間は「これを伝えたい」という目標をしっかりと持ち、授業に臨んだか。
- 4 計画をしっかりと立てられたか、毎日やるべきことがこなせていったか。
- 5 まず教師になって実践するのだという意欲や姿勢を示すことができたか。

- 6 絶対教師になるのだという強い思い、何でも吸収していこうという姿勢、指示待ちではなく、主体性を持って教育実習に臨めたか。
- 7 教えられて動くのではなく、まず、自分で周りを見て、その場の状況に合わせて行動を。
- 8 責任感と向上心、高い専門性、児童への愛情、観察力を発揮できたか。
- 9 授業で学習させる内容を実生活と関連付けて、どのような具体例を挙げて説明するかということが課題である。
- 10 実習実施後に十分振り返り、教師採用に向かって教師となったときになすべき事項を見出すことができたか。

Ⅲ 実習校の指導教員・校長の指導助言から

- 1 児童・生徒側、教える側がともに楽しめる授業を。
- 2 教師にとって最も必要なのは、情熱と愛情である。
- 3 「生徒が主役である」と言うことを忘れてはならない。教師力の大きなものは「子どもにより添う力」である。
- 4 教育は技とするのではなく、人柄、人物を持って行うということである。
- 5 よい先生に出会えば、一生、その科目が好きになる。それは、幸せな人を一人生み出すことになる。
- 6 教師として「子どもを見つめる目」「周りを見つめる目」「自分を見つめる目」を大切に。
- 7 授業は教師と生徒との相乗効果でよくなる。教師は、同僚、生徒、保護者で成長する。
- 8 信頼される教師の条件は、「生徒への愛情」「教員としての人間性」「分かりやすい授業」「生徒とのコミュニケーション能力」などがあげられる。
- 9 「挫折は成功につながるいい経験」ということです。
- 10 「いま、このときに努力すること。」努力は人を裏切りません。
- 11 児童・生徒の実生活につながるような体験を取り入れた授業づくりを。
- 12 教師の澄んだ、温かい目は、子供の反応をとらえる一番優れたもの、良い耳は子供のつぶやきを聞き逃さぬ最優秀のレーダーである。
- 13 とともに学び、ともに未来を語る、そんな先生になってほしい。
- 14 いい発言、授業にプラスになる発言を、いかにうまく取り上げられるかが鍵である。
- 15 生徒一人一人と向き合い、理解し、認め、自尊感情を持たせることが大切だ。
- 16 教師は、負担も多いが、それ以上に喜びや感動を与えてくれる、とてもやりがいがある職業である。
- 17 子どもの心をつかむことと同様に大切なのが、保護者の方の信頼である。
- 18 「間違いはみんなの宝」です。
- 19 教師というのは、「これでよし」というゴールはありません。目の前の子どもは日々成長していく。絶えず自分の持っているものを増やす努力と、もうひとつ「壊す」ということも必要です。
- 20 素直に指導教員の指示に従ってくれるのはありがたいが、更なる成長には、自ら進んで相手の技術や様子を盗むことも必要である。

※（参考）教科指導に役立つWebページが、文部科学省、各都道府県教育委員会や教育センターで開設されています。指導計画立案の参考にしてください。